

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Harmony & Theory I		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 MI Hollywood卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆などをこなす。				
授業概要					
音楽の構造や楽典分析の仕方などを、理論立てて学ぶ。					
到達目標					
音楽を理論的側面から捉え、演奏や作編曲等に活用する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	Notation Basics Major Scales
【前期】 7～10回目	Intervals Intervals Within and Beyond The Major Scale
【前期】 11～14回目	Further Study Of The Triad Chords And Major Triads
【前期】 15～18回目	Major Scale Harmony Chord Progressions Harmony & Theory Review
【後期】 1～4回目	Notation Basics Time Signatures
【後期】 5～8回目	Major Key Triads Natural Minor Scales
【後期】 9～12回目	Minor Scale Triad Harmony Harmony & Theory II Midterm Review
【後期】 13～17回目	Minor Scale Harmony Diatonic Seventh Chords
【後期】 18回目	Harmony & Theory II Review
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	既習内容を他の授業に活かせるように、繰り返し学習すること。
使用教科書	MI Bookstore Harmony & Theory 1, 2

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Ear Training I	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 MI Hollywood卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆などをこなす。				
授業概要					
聴こえてくるメロディーやリズム、ハーモニーなどを声に出し、聴音力を鍛える。					
到達目標					
楽曲を聴き、五線譜への採譜する能力の修得。 複雑なメロディーやリズム、ハーモニー等の聴音力の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	Pitch Major Scales/Sharp Keys Major Scales/Flat Keys
【前期】 7～10回目	Intervals Melodies Melodic and Harmonic Intervals
【前期】 11～14回目	Chromaticism Harmony
【前期】 15～18回目	Diatonic Harmony Try It All Together
【後期】 1～4回目	Meter And Rhythm Rhythmic Notation
【後期】 5～8回目	Sight Singing Transcribing Melody and Rhythm
【後期】 9～12回目	Midterm Review Melodic and Harmonic Intervals
【後期】 13～17回目	Triad Qualities Diatonic Chord Progressions
【後期】 18回目	Ear Training II Review
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	既習内容を他の授業に活かせるように、繰り返し学習すること。
使用教科書	MI Bookstore Ear Training 1, 2

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	English Communication	授業形態 / 必・選	講義	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	18回(36単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	全コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 パークリー音楽大学出身。BABY FACE、USHERの来日時にドラムを務めたり、安室奈美恵のバックコーラスとして、NHK紅白歌合戦にも出演。スティービー・ワンダーとセッションするなど、その活動は幅広い。			
授業概要				
いままで学んできた英語を活用し、音楽現場でのコミュニケーションに使えるようになる。語彙や文法などを一度抜きにして、とにかく英語を使ってコミュニケーションしてみる。				
到達目標				
会話力をつけ、様々な練習を通して音楽現場でコミュニケーション・ディスカッションができることを目指す。				

授業計画・内容	
【前期】or【後期】 1～2回目	授業説明。英語に慣れる。挨拶と自己紹介をしてみよう。
【前期】or【後期】 3～4回目	身の回りの物について話してみよう。
【前期】or【後期】 5～7回目	音楽について話してみよう。好きなアーティストや楽曲を紹介してみよう
【前期】or【後期】 8～9回目	音楽用語について。音楽現場での会話について
【前期】or【後期】 10～11回目	様々なコミュニケーションについて
【前期】or【後期】 12～13回目	プレゼンテーションについて
【前期】or【後期】 14～16回目	プレゼンテーション
【前期】or【後期】 17～18回目	復習と総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	既習内容をしっかり理解し、自身の活動に活用すること。
使用教科書	講師が別途指示。主に講師作成のプリントを使用。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	MusicBusiness	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	18回(36単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	ベース/ドラム/ギター/ヴォーカル コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴:20年 MI TOKYO卒業後、音楽制作会社を起業し、レコーディング・PAエンジニアとして活動している。				
授業概要					
音楽を通じビジネスを学びます。現代の音楽業界の多様化や変化を学習しながら、自分のキャリアを形成します。業界の仕組みや著作権、またWEBやSNSを活用したプロモーションなど多角的にアーティストの活動を理解していきます。					
到達目標					
音楽をインターフェースにビジネスを知る。個人事業主とは何かを知る。					

授業計画・内容	
【前期】or【後期】 1～3回目	MusicBusinessについて、音楽ビジネスとマネージメントについて、プロフィールの作成
【前期】or【後期】 4～5回目	活動計画を考える:ビジョンを見据える～キャリアプラン
【前期】or【後期】 6～7回目	仕事とはなにか、世の中の様々な仕事について
【前期】or【後期】 8～9回目	自分の価値について、プロフィールの再考、復習
【前期】or【後期】 10～11回目	流通について、予算について
【前期】or【後期】 12～13回目	産業について、事業計画について、予算
【前期】or【後期】 14～15回目	企画の概要、プレゼンテーション
【前期】or【後期】 16～18回目	ファイナルプレゼンテーション、プロフィールの作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	既習内容をしっかり理解し、自身の活動に活用すること。
使用教科書	

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Reading (Bass) I		授業形態 / 必・選	講義	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	1年次	4単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太朗、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライブ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。				
授業概要					
楽譜を読むのが初めての人にも無理なく理解できるように基本的なリズムと限られたポジションから最終的には初見演奏にも対応できる技能の習得をめざす					
到達目標					
基礎的な読譜力の習得。オープンポジション及び5th Positionを使用した基礎的な演奏力の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	読譜の基礎と五線譜上の音符、5～10フレット上の音名について、ポジションの概念・チャートリーディング、10～15フレット上の音名について
【前期】 6～10回目	チャートリーディング・フォームの基礎、複雑なリズム・跳躍した音程の読譜、一般的なSong Formについて、1st～4thポジションについて・臨時記号の基礎について Gメジャーkey・メロディの基本
【前期】 11～15回目	Key of G,Dのリーディング、フラットkeyのリーディング、読譜中の視覚的動作・様々なkeyのリーディング、付点音符のリーディング、5thポジションのリーディング
【前期】 16～18回目	チャートリーディング・コード進行の度数による理解、16ビートのリーディング、リズムエクササイズ・コード進行のローマ数字での置き換え、調号と臨時記号が併用された譜面のリーディング・記譜法
【後期】 1～5回目	5thポジションのリーディング、Key of B \flat , E \flat , A \flat のリーディング、タイを使ったリズムリーディング、臨時記号について、オープンポジションのフラットKeyリーディング、オープンポジションと1stポジションについて、シンコペーションリズム
【後期】 6～10回目	4thポジションのリーディング、Key of C,Gのリーディング、3rdポジションフラットKeyリーディング、Key of D \flat , G \flat 、1stポジションフラットkeyリーディング、key of G \flat 、オープンポジションマイナーKeyリーディング、key of A minor, E minor、ハーモニックモ
【後期】 11～15回目	4thポジションのリーディング:Keys of G,D, and modulations、フラット調号のリーディング:keys of F,B \flat ,E \flat ,A \flat ,D \flat , G \flat 、オープンポジションマイナーキーの続き、Minor Tonalities、4thポジションkeys of A, D, G、5thポジションKey of F、オープンポジション
【後期】 16～18回目	6thポジションkey of A, E, B、5th ポジション Keys of B \flat , E \flat 、Minor Key: 2ndポジションkey of F#minor、3rdポジションkey of C minor、Octave Signs、6thポジションkey of B、5th ポジションkeys of E \flat , A \flat 、Minor Key: 1st ポジションkey of F minor、4thポジ
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	既習内容を他の授業の読譜に活かせるように、繰り返し学習すること。
使用教科書	MI Bookstore Bass Reading 1, 2

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Technique(Bass) I	授業形態 / 必・選	実習	必修
		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	ベースコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。			
授業概要	コンテンツポラリーなベースプレイヤーとして必要なテクニックをさまざまな例題から学ぶ フィンガースタイルやスラップスタイルなど基礎となるスタイルや数々のグルーブをマスターしていく			
到達目標	フレットボード上のすべての音を把握できるようにする			

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	Posture, Playing Techniques, Fretboard Basics, Plucking Hand, Fretting Hand, Scales and Intervals, Cross-String Picking
【前期】 6～10回目	Fretting Hand, Dexterity and Tone, Scales and Intervals, Playing with a Pick, Simple Intervals, Compound Intervals, Down-Stroke Picking
【前期】 11～15回目	Two-Octave Scales, Scale Harmonization, Subdivisions, Melodic Phrasing, Ghost Notes, Extended Two-Octave Scale Fingering, Major Diatonic Triads
【前期】 16～18回目	Attack Textures 1, Key Centers, Attack Textures 2, Fretboard, Key Center, Review
【後期】 1～5回目	Thumb Plucking and Palm Muting, Melodic Development, Key Centers, Slap Bass, Melodic Development, Slap Bass: Expanding Rhythms, Melodic Development: Alternating Intervals
【後期】 6～10回目	Augmented Triads, Slap Bass: Rhythmic Sequencing, The Natural Minor Scale, Slap Bass: Transposition, Fretboard, Slap Bass: Neck-Hand Slapping, Fretboard
【後期】 11～15回目	Slap Bass: Single-String Thumb and Pop, Natural Minor Diatonic Triads, Fretboard, Slap Bass, Diatonic Seventh Chords, Chord Inversions, Slap Bass: Mathematical Phrasing
【後期】 16～18回目	Diatonic Minor Seventh Chords, The Melodic Minor Scale, Slap Bass: Rhythmic Displacement, The Harmonic Minor Scale, Harmonizing the Melodic and Harmonic Minor Scales, Review
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	既習内容を他の授業にも活かせるように、繰り返し学習すること。
使用教科書	MI Bookstore Bass Technique 1, 2

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Performance (Bass) I	授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	72回(144単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置学科コース	ベースコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経歴: 10年 MI Hollywood卒業後、アメリカ西海岸を中心にさまざまなアーティストをサポート。帰国後もバンド、アーティストサポートなど精力的に活動している。			
授業概要				
ベーシスト視点から音楽史を代表するポピュラーな楽曲群をMI独自のテキストにて再現。その先の知識として楽曲を世に残してきたアーティストのスタイルやその時代背景等も学ぶ。その翌日に解説を元に実奏を行う。				
到達目標				
様々なジャンルの生演奏(アンサンブル)に対応可能となるスキルの習得。 知識と楽曲の持つポイントを押さえ、まずはテキストの完全再現を目指す。フルコーラス演奏の精度が上がったら楽曲の持つピックアップすべきフレーズの応用にも着手する				

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	8ビートロックパターンを演奏する、ロックを演奏する R&Bを演奏する、ポップソングを演奏、カントリーミュージックを演奏する
【前期】 11～20回目	ピックを使って演奏する、3/4拍子を演奏する、ブルースを演奏する 3種類のリズムパターンを演奏する、ファンクを演奏する
【前期】 21～30回目	オクターブ奏法を学ぶ、変拍子を演奏する、ボサノバを演奏する 16分グランジロックを演奏する、スタックス・モータウンを演奏する
【前期】 31～36回目	ジャズを演奏する、レゲエを演奏する スラップベースを演奏する
【後期】 1～8回目	8ビートロックのベースライン、ブルースシャッフルロックの演奏 ヘヴィメタルベースライン、ソウルファンクベースライン
【後期】 9～16回目	ヒップホップベース、ワールドビートベース 指弾きとスラップ奏法の切替、ストレートとスウィングの切替
【後期】 17～24回目	サンバベース、ベースでコード弾き ハーフタイム・ダブルタイムの切替、同期との演奏
【後期】 25～32回目	ユニゾンベースライン、ゴスペルベースライン 5/4拍子を演奏、シンセベースを弾く
【後期】 33～36回目	6/4,6/8拍子を演奏する、マンボベースライン 7/4,7/8拍子を演奏する
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	読譜・練習など予習を十分にして、レッスンに望むこと。音楽のジャンルやスタイルについても自主的に深めていく姿勢をもつこと。音楽のジャンルやスタイルについても自主的に深めていく姿勢をもつこと。
使用教科書	MI Bookstore Bass Performance 1, 2, 3, 4

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Digital Audio Workstation(Bass)	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴:20年 MI Hollywood卒業後、海外で精力的な音楽活動を行い帰国。MI TOKYOで講師を務める傍ら、さまざまなアーティストの楽曲制作を行っている。				
授業概要					
Logic Pro X 10.4.xの主要な機能や基本的な操作を学ぶ。					
到達目標					
実際の曲のイントロからエンディングまでの制作過程を体験する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	iMac及びLogic Pro Xの紹介 Apple Loops オーディオトラックの録音
【前期】 7～12回目	MIDIトラックの録音 Drummer(バーチャルドラム音源) オーディオトラックの編集
【前期】 13～6回目	MIDIトラックの編集 ミキシング
【前期】 17～18回目	ミキシングとオートメーション プレゼンテーション、Final Project提出
【後期】 1～4回目	詳細設定とビデオファイル オーディオトラックの録音
【後期】 5～8回目	MIDIトラックの録音 MIDIプラグインとドラムビート
【後期】 9～12回目	オーディオトラックの編集とスマートコントロール MIDIトラックの編集
【後期】 13～16回目	Apple Loopsとスマートテンポ タイムとピッチの編集
【後期】 17～18回目	アレンジとその他編集 ReviewとFinal Project
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	現代ミュージシャンにとってDAWはマストスキル。しっかり身に付けておきましょう。
使用教科書	

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Keyboard proficiency I	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴10年、 MI Hollywood卒業。帰国後バックミュージシャン・講師として活動中。 お台場合衆国「ONE PIECE MEMORIAL LIVE 2010」The Rootless、アカラ10周年記念コンサートなどで演奏。				
授業概要					
鍵盤を利用し、音楽理論のベースを構築しつつ、伴奏楽器の一つとして使えるようにする					
到達目標					
DTM使用の際の基礎的な鍵盤入力方法の習得。 キーボーディストの使うヴォイスिंगやバックキグパターンの理解。 DTM使用の際、キーボードを使用したバックキグ入カスキルの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	スケール練習1～5
【前期】 6～10回目	スケール練習6～10
【前期】 11～15回目	コードの転回型1～5
【前期】 16～18回目	コードの転回型6～9
【後期】 1～2回目	4分打ちのバックキグ練習 サスティンペダルを使用してのバックキグ練習
【後期】 3～8回目	バックキグ練習1～6
【後期】 9～11回目	バックキグ練習1～6の復習 シンセの音色を知る
【後期】 12～16回目	バックキグ練習7～12
【後期】 17～18回目	バックキグ練習7～12の復習 今までのバックキグ総復習
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	鍵盤を使って視覚的に音楽理論を把握しましょう。
使用教科書	MI Bookstore Keyboard performance 1

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Rhythm Reading Workout	授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	ベース/ドラム/ギター/ヴォーカル コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>			
担当講師 実務経歴	実務歴20年 MI Hollywood卒業後、日本で活動を開始。エレクトリック、アコースティック問わず「歌モノとしてのギターアプローチ」を追求しており、そのギターワークは、国内アーティストのみならず海外のアーティストからも高い信頼を得ている。			
授業概要	基礎的な音楽シンボルの考察とリズムトレーニング			
到達目標	様々なリズム譜でのトレーニングを通して根本的なリズム力を向上させる			

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	基礎的な音楽記号の解説、大枠としてのリズムの考察・概念、8分音符のリズムの考察 道筋を表す譜面上の記号①、8分休符のリズムの考察
【前期】 6～11回目	16分音符のリズムの考察、道筋を表す譜面上の記号②、16分休符のリズムの考察 ミックスリズムの考察、8分音符と16分音符のミックスリズムの考察
【前期】 12～15回目	シンコペーションしたリズムの考察、ここまでの学習のレビュー・トレーニング 8分音符の3連符のリズム
【前期】 16～18回目	2分音符及び4分音符の3連符のリズム、複合リズムを使用したリズムトレーニング リズム譜の考察と全体レビュー
【後期】 1～5回目	タイを使ったリズム、付点音符と付点休符、タイと付点音符のミックスリズム
【後期】 6～10回目	スウィングした8分音符、2/4拍子、3/4拍子、6/8拍子、ここまでのレビュー・トレーニング
【後期】 11～15回目	6/8拍子の16分音符のリズム、16分音符の3連符とスウィングのリズム、カットタイム
【後期】 16～18回目	変拍子、不規則な拍子記号について、5/8拍子、7/8拍子、全体のレビューとトレーニング
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	さまざまなリズムを身体に取りこみましょう
使用教科書	MI Bookstore Rhythm Reading Workout 1, 2

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Live Playing Workshop I	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	72回(144単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	ベース/ドラム/ギター/ヴォーカル コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴: 15年～20年 選択した内容に応じた現役プロの講師				
授業概要					
さまざまな音楽のスタイルやジャンル別に、課題曲を使った本番さながらのバンドアンサンブルの授業					
到達目標					
バンドアンサンブルの経験値を上げる。さまざまな音楽を身体に取り込む。					

授業計画・内容	
【前期】 1～9回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週2回選んで出席する
【前期】 10～18回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週2回選んで出席する
【前期】 19～27回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週2回選んで出席する
【前期】 28～36回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週2回選んで出席する
【後期】 1～9回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週2回選んで出席する
【後期】 10～18回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週2回選んで出席する
【後期】 19～27回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週2回選んで出席する
【後期】 28～36回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週2回選んで出席する
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	いままで触れたことの無い音楽にたくさん触れて、さまざまな音楽を体感してください
使用教科書	講師が用意する譜面

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Bass Style Selection I	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴:15年～20年 選択した内容に応じた現役プロの講師				
授業概要					
自身の望むスタイルに向けた授業を選択し、学んでいく。					
到達目標					
自身のスタイルの確立。 確立したスタイルに対するスキルの習得、向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～9回目	選択① 別途配布する授業の中から選んで受講する。
【前期】 9～18回目	選択② 別途配布する授業の中から選んで受講する。
【後期】 1～9回目	選択③ 別途配布する授業の中から選んで受講する。
【後期】 9～18回目	選択④ 別途配布する授業の中から選んで受講する。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	自身のスタイルを確立し、自分だけの音楽を作り出してください。
使用教科書	選択した授業ごとに資料を配布。